

Sankka

讃歌
冬号

京都九条病院 Communication Book

特集 整形外科部長にお聞きしました。
元気な膝で、
人生を楽しく悠々と。

特集 退院支援病室の紹介。

多職種のスタッフが志をひとつにして、
患者さんの在宅復帰を
サポートします。

コミュニケーション広場

健康は毎日の食事から「医食同源」講座 第7講目
暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座 第6講目
ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ 第10弾
私の病院自慢あれこれ 第10回

院内散策

第2回京都九条病院
病診・病病連携セミナー



院長 山木 垂水



整形外科部長 吉野 信之

vol.10
2008 Winter
冬号



Nobuyuki Yoshino

京都九条病院 整形外科 整形外科部長 吉野 信之

特集 1 整形外科部長にお聞きしました。

元気な膝で、 人生を楽しく悠々と。

立つ、座る、歩く、走る。膝の関節はあらゆる日常動作の要となる部位。

京都九条病院の整形外科では、

全国的な実績を誇る人工膝関節手術などを通して

患者さんの快適な暮らしを支えています。

同じ悩みや痛みをもつ方々のために、
専門の道を歩んできました。

私は整形外科の医師ですが、患者さんからよくつぎのような質問を受けます。「整形外科と外科はどのように違うのですか?」。表現の仕方は医師によってさまざまですが、私はいつもこうお答えしています。「外科の範囲は背骨以外の胴体部、整形外科は頭部と内臓部を除いた全部位と背骨が対象です」と。とはいえ、二つの科が厳密に分かれているわけではありません。状況によっては外科の先生が手足の手術をされることもありますし、各科の壁を越えた医療に取り組んでいる京都九条病院ではお互いをよく知っておく必要があります。

ともあれ整形外科のフィロソフィはかなり広く、患者さんの数も非常に多い科です。現在、当科では4名の医師が患者さんのさまざまな悩みや痛みの解決に力を尽くしています。実に広範囲にわたる整形外科医の仕事ですが、医師にはそれぞれ専門分野があります。私の場合は膝、なかでも人工関節に深く関わっています。私自身膝に「水」と呼ばれる関節液がたまりやすい障害がありました。同じ悩みや痛みをもつ人の力になりたいという思いが、私をこの道に導いたのかもしれないですね。

変形性膝関節症は知らない間に
毎日の暮らしをむしばんでいきます。

膝は体重の負担が最もかかりやすい部位で、年齢を重ねるにつれて関節を構成する半月板や軟骨がすり減りはじめます。すると膝を曲げ伸ばしするときに痛みが生じたり、関節液がたまりたりします。これを変形性膝関節

症といいますが、軟骨の摩耗がさらに進むと骨そのものが変形し、痛くて自由に歩けなくなるなど日常生活に大きな支障を及ぼします。若い人でメケガなどで同じ症状になる恐れがあり、リウマチが原因になることもあります。

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクエアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。



人工膝関節手術前の歩行



人工膝関節手術後の歩行
上下とも同じ人です。

変形性膝関節症の治療の一つに人工膝関節手術があります。これは患者さんの痛みの原因になっている傷んだ関節表面部分を取り替える手術です。人工膝関節手術を行うと手術後早期より、痛みの少ない生活ができます。しかし患者さん全てにこの手術をおすすめすることはできません。他の治療で十分な効果が得られない時に行う最終的な手術



宇宙服のような清潔用の手術着

と考えていただければよいでしょう。人工関節の素材は主に金属とプラスチックです。頑丈ですが、それでも摩擦から逃れることはできず、耐久性にはやはり限りがあります。耐用年数はだいたい15年から20年ほどですが、患者さんの年齢や骨の質、生活条件などによって耐用年数には差があります。

大腿骨用の金属
(荷重部正面)



Knee prosthesis



膝の中に入れる
ポリエチレン

人工関節の善し悪しは医師の腕次第。
当院は口コミで評判をいただいています。

急速に進む高齢化と歩調を
あわせ、変形性膝関節症の患者
さんが増え続けています。性別
を見ると女性が多く、これはホル
モンとの関係といわれています。
京都九条病院でもここ数年、人
工膝関節手術がずいぶん増え、
昨年はほぼ1週間に二度の割合
で手術を行いました。手術の最
大の利点は痛みを取り除けるこ
とです。膝が痛くて立つのも辛
かった患者さんが元気に歩かれ
る姿を見るのは、医師として何
とも嬉しいものです。

当院で人工膝関節手術を受
けた方は、そのほとんどが口コ
ミの患者さんです。手術された
方から「あの病院はいい」とい
うお話を聞いてお越しになられ
たのです。なかには四国や神奈
川県といった遠方の方や、一度東
京の有名病院へ相談に行き、そ
こで私を紹介されたという地元
の方もいらっしゃいます。

当院ではまた、通常の人工関節
手術より高度な技法が要求され
る人工関節の入れ替えも数多く
手掛けています。

膝の人工関節のパフォーマンス
は手術を行った医師の腕に大き

く左右されるといわれています。
確かな技術をもってはじめて違
和感なく曲がり、長持ちする関
節を実現できるのです。
最近膝が痛い、歩くのが辛く
なったという方は気軽にお越し
ください。そしてご相談ください
これからの人生を悠々と歩いて
行くために、ベスト
の道を探していま
しょう。



人工関節の情報満載の
ホームページもご利用ください。

<http://www.kyotokneecenter.com>

治療に関するご相談・ご質問は
「医療法人同仁会(社) 京都九条病院」まで

Tel 075-691-7121

<http://www.kujohp.com>

特集2

退院支援病室の紹介。

多職種のスタッフが 志をひとつにして、 患者さんの在宅復帰を サポートします。

入院から退院まで、ご自宅や施設への掛け橋として、
京都九条病院では退院支援病室を運営しています。

急性期治療を終えた方を 引き続きケア

横尾 退院支援病室(亜急性期病室)は、一般病棟において急性期治療を経過した患者さんや、在宅・介護施設などで急性増悪した方に対して在宅復帰支援を有し、効果的かつ密度の高い医療を提供することを目的としています。京都九条病院では昨



京都九条病院
看護部長・地域医療部長

横尾 重子

年の7月から、急性期以降も在宅復帰が困難な状態や在宅医療への移行のための調整を要する状態にある患者さんを対象に退院支援病室を運営しています。それまでも入院病棟で在宅復帰支援は行ってきましたが、今までの在宅復帰支援とは支援する患者さんの状態の違いが挙げられます。
南田 そうですね。一般病棟では急性期の患者さんの在宅復帰を支援していますが、退院支援病室では亜急性期の患者さんのサポートがメインになります。
横尾 以前は急性期治療を終えると在宅復帰に多少の不安があってもご自宅や施設に戻って

ただかなければならないケースもありました。患者さんとご家族に安心していただくためには、そのような不安を解消する必要があります。退院支援病室では入室期間が最長90日なので、より多くの時間を確保できますし、また支援を行う体制もより充実しています。

南田 退院支援病室では、ひとりひとりの患者さんに主治医、看護師に加えて理学療法士、作業療法士、栄養士、薬剤師、社会福祉士、そしてケアマネージャーや訪問看護師、ホームヘルパーといった病院内外のスタッフとチームを組んで支援を行っています。私は患者さんやご家族とスタッフの間、あるいはスタッフ間の調整を図るコーディネーターを担当しています。

患者さん中心の トータルケア

横尾 では、実際にどのような手順で支援が行われるのでしょうか。
南田 急性期治療を終えられたのにADL(日常生活を送るうえで必要な基本的な身体動作や移動動作)がまだ十分に回復していない患者さん、在宅復帰にまだ不安の残る高齢者の方や独り

暮らしの方を対象に、患者さんご家族の意向をお伺いしたうえで入室していただきます。次にチームカンファレンスに患者さんご家族も参加して頂き希望を取り入れながらケア計画を作成します。カンファレンスは途中にも行い、回復状況を見ながら、必要であれば計画の内容を修正していきます。

横尾 多職種が集まって患者さんやご家族にも参加していただいで一緒に支援に取り組めるのもとても良いことだと思います。いくつら高い専門性を備えていても各職種がバラバラに動いていては効果的な支援は出来ないですし、退院支援チームのみながら意見を交換しあい全員で検討することにより、本当の意味でのトータルケアが提供でき、それぞれの専門能力をよりいっそう発揮できる質の高い支援が提供できます。

南田 意識の面でも大きく変わりましたね。チームに属していることで、各自の責任感が強くなりました。そして同仁会グループ間や地域との連携も深まりました。また、チームケアは患者さんやご家族にとってもたいへん強いようです。チームカンファレンスに参加している大勢のスタッフを見て、「こんなに多くの人が支えてくれるなんて」と喜んでいただいたこともあります。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- ① 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- ② 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- ③ 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- ④ 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- ⑤ 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- ⑥ 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。

『現場』経験と
知恵をケアに反映

横尾 在宅復帰されると介護の担い手がご家族になるケースがあります。そういった場合はどのような支援がなされているのでしょうか。

南田 これは60歳代の患者さんの事例ですが、その患者さんは自宅に戻られた後も痰の吸引や注入食が必要な方でした。そこで練習を兼ねて、退院の1カ月前から一緒にケアに参加していただき痰の吸引を体験していただきました。それから痰の吸引以外にも、車椅子への移動や、手引き歩行、オムツの交換などを実際に体験し

ていただき、介護力のアップを図って頂くようにしました。このことがご家族の自信に繋がっており、現在も在宅で介護を続けておられます。

横尾 退院前には日常生活動作の方法や住宅改修のアドバイスを行う退院前訪問指導を実施していますね。

南田 可能な限り患者さんを自宅までお連れして、実際にベッドに寝て頂いたり、浴槽に入って頂いたりして、安心して自宅で生活していくためにどのようなすればいいのか検討します。また独居の患者さんには防犯の面でも気を配らなければなりません。

横尾 そういった場合にケアマネージャーや訪問看護師の存在は大きいですね。病院では住環境まで把握できないときもあります。実



際の『現場』を知っているスタッフの経験や知恵が暮らしの安心を高め、ひいてはそれがご家族の介護負担の軽減にも繋がるのですから。
南田 そうですね。退院されたからといって支援が終わるわけではありませんが、再び自宅訪問を行い改善すべき点をチェックアップし、次の訪問時まで修正できるように努めています。

これからも
いっそう充実した支援を

横尾 これまで100名近い患者さんの支援を行ってきましたが、これからも現状に甘んじることなく、取り組みをさらに充実させていく必要がありますね。

南田 京都九条病院だけでなく、同仁会グループ内の他施設のスタッフにも大勢関わってもらい、チームメンバーを増やしていきたいですね。将来的には一般病棟でも同じようなケアが行えるようになるのが理想です。

在宅復帰された患者さんが気軽に診療や相談が受けられる、かかりつけの医師を確保するため

に、地域の診療所との連携も深めていきたいと考えています。
横尾 住み慣れた地域で暮らしていただくためのサポートをすることは京都九条病院の方針でもあります。これからも1人でも多くの患者さんが安心して在宅復帰できるように、そしてご家族の負担を少しでも和らげるために、私たちは一層充実した支援を届けたいと思います。

Kikumi Minamida

京都九条病院
看護課長

南田 喜久美





豆乳入りけんちん汁

材料(4人分)

1人分のエネルギー=208Kcal
蛋白質13.5g、食塩1.2g

- 豆腐……………320g(一丁)
- 油あげ……………40g(1枚~2枚)
- 豆乳……………400ml(カップ2杯)
- かぼちゃ……………60g(1/12ヶ)
- 大根……………80g(1/10ヶ)
- 金時人参……………40g(1/6ヶ)
- ねぎ……………10g(1本)
- しめじ……………60g(1/6袋)
- 白みそ……………80g(大さじ4杯)
- だし汁……………400ml(カップ2杯)
- かつおぶし……………10g
- こんぶ……………10g

水にこんぶを入れて加熱し、煮立つ直前に取り出し、かつおぶしを入れる。

再び煮立ったら、火をとめ、かつおぶしが沈んでから、上澄み液を取る。

かぼちゃ、大根、金時人参、油あげを短冊きりにし、しめじは、しづきを切り落とす。

にを入れて煮立てる。

豆腐をくずして入れる。

煮立ったら、白みそを溶いて、最後に豆乳を加え出来上がり。

気温が下がりがり空気も乾燥するこの季節、体力や抵抗力が弱り易く、寒さがストレスとなるので体調を崩し易い時です。風邪は年間を通じて、最もかかりやすい病気のひとつ、その原因は、殆どがウイルス感染によるものです。風邪のウイルスは乾燥、低温の中で活性を保持し易いため、特に冬には感染し易くなります。風邪を予防するには、免疫力、抵抗力を高めることが重要です。ウイルスと戦う免疫システムをハックアップするために、栄養、保温、安静が三大原則になります。

栄養 抵抗力をつけるには少量でも高栄養の食事をバランスよくとり、エネルギーを十分確保するようにしましょう。抵抗力や免疫力を高める蛋白質、ビタミンC、ビタミンB群の補給も大切です。もちろん水分補給も忘れず、Aの補給も大切です。もちろん水分補給も忘れず、Aの補給も大切です。

免疫力を高めるには体を温めることです。温かい食べ物や飲み物をとることで体温が上がると、血管が拡張し、血行がよくなります。また、尿汗、便、唾液の分泌がよくなるので、新陳代謝もよくなります。体を温める食材としては、里芋、大根、人参などの根菜類や、しょうが、にんにく、黒砂糖などがああります。これらの素材を積極的に使用し、鍋ものやスープなど温かい料理を食べるよう心がけてください。今回は免疫力を高める食材で、体を温める料理をご紹介します。

FOOD for HEALTH

健康は毎日の食事から「医食同源」講座

講師:京都九条病院 管理栄養士

尾木 敦子
Atsuko Ogi



あったかメニューで風邪の季節を乗りきりましょう!



NURSING for HEALTH

暮らしの中で病気を予防「健康ライフ」講座

京都九条病院 看護部4F病棟 看護師

近藤 夏美
Natsumi Kondo

ストレスに負けない自分づくり。



現代はまさにストレス社会です。毎日の仕事や人間関係など人はだれでも多かれ少なかれストレスを抱えていますよね。原因はさまざまだと思いますがストレスを抱えこんでしまつと心だけではなく身体にも影響がでてきます。ある本によるとストレスとは一般的に外部から受けるものだと思うのですが、実は「こだわり」から生まれる緊張感がその人の心の中に存在する「こだわり」に作用し、悩みを引き起こしてしまつていくのです。

そこで私のリラククス法ですが、「スカルプマッサージ!!」頭皮マッサージです。

頭は自分かと思う以上に疲れているもので、頭皮がつっぱるような感じを受けたら要



注意!! シャンプー前やシャワー中、また好きな音楽をききながら自分のくるくる空間で行っています。マッサージ方法は両手で頭を抱え込むように耳の上から頭上部、額の真ん中から後頭部、こめかみから前髪など、髪の毛の生え際や押して気持ちいいと感じる部分を指の腹でゆっくり押すだけです。髪も心も喜びますよ。

- (1) 意図的気分転換
気分が悪くなったら早めに気がついて気分を変える。
- (2) 習慣的気分転換
幸せを感じられる時間を習慣的につくる。
- (3) 計画的気分転換
時には旅行に行くなど、大きな気分転換をする。



気分が良ければ幸せを感じやすくなりますし、良い考え、良い行動にもつながっていきます。気分良く生活すること(イコール)幸せに暮らせることだと思います。みなさんもストレスを感じない健康的な生活を過ごすための工夫をされてみてはいかがでしょうか。

海の中での出会いは本当に神秘的！
泳いでいるうちに、陸にもどることを忘れてしまいそうになります。



ジンバイザメとの出逢いを求めて
海底散歩と洒落こんだ後は、
日本の伝統美に
酔いしれています。

今回は
甲原先生が紹介する
Next Doctor

甲原先生

ドクターの「プライベート拝見」
数珠つなぎ

藤田先生

FACE
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 循環器科 部長

甲原 一郎先生
Ichiro Koubara



モルディブ、パラオ、メキシコ、ボルネオ、タイなど、世界中の海をまわって海底散歩を楽しむのが至上の喜び。深いところでは海中30mまで潜り、色とりどりの魚とたわむれています。それぐらい深いと真っ暗では？と思われるかもしれませんが、水が澄んでいるので太陽の光が十分に届き、まさに竜宮城気分です。しかし、少しでも気を弛めると大事になるのがダイビングの怖いところ。一度バリのポイントで潮に流され、遭難しかけたことがありました。

夢はジンバイザメを見ること。マンボウやマンタ（イトマキエイ）なら見た

ことがありますが、ジンバイザメとはなかなか縁がないようで、「今度こそ！」と思いながら次の遠征計画を立てている私です。

陸 上がるると歌舞伎小屋で過ごすのが至福の時。鼻唄は片岡我當丈や仁左衛門丈、中村翫雀丈といった関西の役者さんたちです。歌舞伎のおもしろさは、同じ演目でも役者によって趣きがガラリと変わる。やはり、それだけ皆さん個性的ということなのでしょうね。今年も観たい舞台がたくさんありますが、忙しくてなかなか小屋に行けないのが悩みです。

LOVE
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ

京都九条病院のいいところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

病院のここが好き!!

好きな言葉
favorite word

「創造」

山本 子乃

リハビリテーション課 理学療法士



当院では、手術後すぐに医師から指示を受けリハビリ介入します。今までに何人の方から、「ビックリするほど早く日常生活に復帰できた」と感謝の言葉をいただきましたが、それはひとりひとりのスタッフが患者さんのやる気を引き出す指導を実践している証し。患者さんの第二の人生を切り開くリハビリは、新しい何かを創ることであります。私たちもいつも、患者さんとの「コラボレーション」に全身全霊で取り組んでいます。

好きな言葉
favorite word

「小粋」

三好 公司

検査部 生理検査課



生理検査とは心電図や脳波、超音波など直接人に接する検査のことです。課のメンバーは現在5名。みんな年齢が近くチームワークも抜群、困ったときにすぐに助け合えるのが自慢です。私たちの業務は、患者さんがどのような状態にあるかを正確に見きわめなければなりません。だからいつも緊張感を絶やさないよう心がけています。その一方で患者さんに精神的な負担を与えないよう、ゆとりを感じさせることも大切。和気あいあいとしながらも真剣に、毎日の仕事に打ち込んでいます。

好きな言葉
favorite word

「向上心」

池田 昌司

事務部 医事課



先日、急ぎよ時間外外来でお越しになられた患者さんから、「いつもの人やな。あんたの顔を見てほっとしたわ」と言われました。大病院では一般と時間外の受付を別々に行っているところが多いようですが、ここでは同じ職員が担当しています。その分患者さんとふれあう機会が多くなり、患者さんにとってはそれが安心感に繋がるんだなと、その時実感しました。これも地域密着を目指している京都九条病院ならではのいいところだと思います。

好きな言葉
favorite word

「心に寄り添う看護」

古館 紀子

看護部 5階病棟



以前、研修医の方が「ここはとても居心地がいい」とおっしゃってくださいました。本病棟には主に脳神経外科の患者さんが入院されています。患者さんやご家族の方に安心感を与えたい!!!みんなのそんな思いが、和やかないい雰囲気を出しているのだと思います。「心に寄り添う看護」は看護学校の先輩にいただいた言葉です。これからも技術をいっそう高めるとともに、真心のこもった看護を変わることなくお届けできるよう頑張ります。

第2回京都九条病院 病診・病病連携セミナー

主催 京都九条病院



- 京都九条病院 この一年
1. 京都府の誕生
 2. 地域医療連携の発展
 3. 2012年目標 (19年7月より)
 4. 看護職員 100名増員
 5. 平均年齢 31歳以内の刷新
 6. 看護部 200名 (19年7月より)
 7. 第11回日本神経学会学術大会 (19年6月14日)
 8. 京都府立総合医療センター 京都府立総合医療センター 開設
 9. 日本医療経済学会 発表会に参加



京都九条病院ではよりよい医療の実現を目指して、院内外でさまざまな取り組みを積極的に行っています。その一環として、昨年の11月17日(土)、京都リサーチパークにて当院および他病院・診療所の医師、地域担当者を対象とした、第2回京都九条病院 病診・病病連携セミナーを開催しました。これは当院と地域の病院・診療所との連携、また当院のスタッフ間の連携を促進することで地域医療サービスのさらなる充実を模索するもので、第2回目となる今回の機会にも多数の参加者が集まりました。

山木院長により、「京都九条病院の2年間の取り組み」、病院機能区分の再編(2008年

度)に関するお話でセミナーはスタート。最初の発表者として壇に登った横尾重子看護部長・地域医療部長は、地域医療連携室や昨年からの運営を開始した退院支援病室、本誌掲載特集②の活動について報告、続いて外科の北川智医師より肝腫瘍診断・治療の最新線(DynaCTと造影エコー)を豊富なデータや画像を用いて紹介されました。

第一部では、榎原毅彦脳神経外科部長が京都九条病院の救急体制と脳卒中センターの役割や、当院 脳神経外科が独自に開発した「積極的脳平温療法」などについての講演を行いました。その後の質疑応答では院内スタッフまたは他病院・診療所の方からの発言が相次ぎ、京都九条病

院のユニークな取り組みや独自技術への関心の高さをうかがわせました。

第一部と第二部との間のコヒューブレイクではリラックスした雰囲気なか、内外の垣根を越えた活発な情報交換が行われ、こちらもたいへん有意義な時間となりました。

京都九条病院ではこれからも、セミナーなどの開催を通して同仁会グループ全体のさらなる連携は勿論のこと、他の医療機関との連携強化に努め、地域の方々の暮らしを支えるよりよい医療を実現していきます。



医療法人同仁会(社団)
京都九条病院
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-691-7121・FAX 075-691-5311 www.kujohp.com/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マム フローラ
〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2
TEL 075-958-3388・FAX 075-951-5300 www.dojinkai.com/mam_f/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マム クオーレ
〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3
TEL 075-691-7755・FAX 075-691-7765 www.dojinkai.com/mam_c/

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護ステーション・マム
〒601-8454 京都市南区唐橋経田町16
TEL 075-661-3820・FAX 075-661-3835 www.dojinkai.com/mam_s/

京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-692-3368・FAX 075-692-3348 www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
居宅介護支援マムステーション
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-691-7200・FAX 075-691-7116 www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 075-691-7766・FAX 075-693-6175 www.do-clinic.com/

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 075-691-5070・FAX 075-693-6175 www.do-clinic.com/yob/

京都九条病院(提携) 同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 0120-558-756・FAX 075-672-1414 www.e-shinshin.com/